

今回の座談会では、中学生の皆さんから甲賀市に対する思いを伺いました。公共交通の充実、忍者・信楽焼などを生かしたまちづくり、本市のPR方法など、中学生ならではの視点で、どうすれば甲賀市がより住みやすくなるか、若者の定住促進につながるか、



観光客を増やすことができるかなどさまざま提案をいただきました。甲賀市のことを真剣に考えてくれていることが分かり、とても頼もしく思いました。国際化が進む現代社会であるからこそ、自分の生まれ育った地域のことを知ることはとても重要です。甲賀市を知り、滋賀県を知り、初めて日本のことが分かります。次代を担う子どもたちには、まず本市のことをしっかりと知ったうえで自信と愛着を持ってまちを自慢してもらいたいと思います。そのためにも日本遺産をは

じめとする数々の資源や歴史、それら甲賀市の魅力をもっと発信していかなくてはいけないと感じました。この座談会を通して、中学生の皆さんが本市の課題や未来についてさらに考え、主体的にまちづくりに関わろうとする意識を育んでくれることを期待しています。今回の座談会での意見を参考にさせていただきながら、これからも子どもたちがいきいきと健やかに安心して夢を追い続けることができるまちをめざし、オール甲賀で取り組みを進めます。



城山中学校 副会長
おくむらけいた
奥村啓太さん

Instagramなどがはやっている。例えば忍者やほうじ茶ラテなども用いて市内に「インスタ映え」する場所を作れば、人が来ると思う。

学校を整備して、学力向上に力を入れると人が集まると思う。ICTなどの授業もあるが、塾でもやっているような映像授業で、わかりやすい授業、わかりやすく教える先生を迎えるなどすればいいと思う。



信楽中学校 副会長
こうだとしや
幸田稔也さん

部活動について、県内では成績がよくても全国で見るとそうでもない。外部コーチに依頼すればもっと部活動の成績がよくなる。

甲賀中学校 生徒会長
もりちひろ
森地拓登さん



交通の面で、もっと便利になり、京都方面などの高校や大学などに通学しやすくなれば、住む人が増え、まちが活気づくと思う。

遊ぶところが少なく、「甲賀市」と印象付けるものがないと思う。甲賀市なら「これ」という娯楽施設などがあればいい。

住まなくなった家や土地、荒れた場所などが多いので、遊べる場所などに活用したらいい。

忍者を生かす。「忍者が学べる場所はどこか？」と聞かれたときに忍術屋敷しか出てこない。忍術屋敷がある通りを「忍者ストリート」にすればもっと活気付き、外国人など観光客も増えると思う。



土山中学校 生徒会長
かなおかゆうき
金岡優仁さん

ランドマーク的な自慢できる場所を作るなど若者の心をつかむものがあるといい。また、「甲賀市=忍者」のイメージを全国に広める時に、忍者だけでなく信楽焼やお茶なども盛り込むことでもっとおもしろいものができると思う。

都会と自然のバランスが大事。自然の中では忍者に関連づけたことをする。街なかには大型ショッピングモールを建設し、その中で信楽焼やお茶などの店舗を入れたり、忍者のショーなどのイベントを開催したりする。バランスのよいまちになればいい。

甲賀市をどんな「まち」にしたいですか？

仕事がなく他県へ行く人が多いので、ものづくり1位などを市民の人に知ってもらうようにPRしたいと思う。また、住める場所を増やし教育や商業施設が充実すれば人は来てくれると思う。



水口中学校 副会長
はやしりのん
林凜音さん

土山はお茶が有名。今はほうじ茶がはやっているの、ほうじ茶を使った「ラテ」などでまちおこしをしたらいい。



世界では日本は「忍者」のイメージがあると思うが、甲賀や伊賀が忍者であるというイメージはあまりない。甲賀や伊賀の忍者を定着させるといい。



甲賀中学校 副会長
にしだかずまさ
西田和将さん

待機児童が0人である、インターチェンジが3つあるなど甲賀市の自慢できるところをもっとみんなに知ってもらおう。例えば甲賀市の新聞を作り配布するなどしたらいいと思う。

わたしたちもオール甲賀のメンバーです